

【大学間協定留学】 留学近況報告書

記入日	2023年 10月 29日
留学先大学	リール・カトリック大学（日本語名） Université catholique de Lille（現地言語名）
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）： （現地言語での名称）： <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
留学期間	2023年8月－2024年7月
明治大学の所属学部等	商学部/商学科（学部/学科/研究科/専攻等）
学年（出発時の本学での学年）	3年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

同じ留学先の先輩の留学報告書を読んだり、LINE 等を通して適宜、先輩に質問をして情報を集めていました。また、同じ留学先に行く仲間ができるのと渡航前と渡航直後に一緒に準備ができるので、募集人数が多い留学先を選ぶと、準備がスムーズに進むかもしれません。また、7月の中旬頃にフランス大使館が主催しているセミナーに参加して、渡航前、渡航後の詳しい手続きの情報を得ることができたので、参加をおすすめします。

II-1. 留学のための渡航前手続き（留学ビザ） ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：長期学生ビザ	申請先：在日フランス大使館
ビザ取得所要日数：約2か月 （申請してから何日/週間要したか）	ビザ取得費用：1万円
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？	
必要な書類は、オンラインで入力済みの VISA APPLICATION FORM（証明写真を貼る）、パスポート、入学許可書、銀行によって発行される貯金残高証明書（英文）、住居証明書です。ビザの申請書は、あらかじめパソコンで入力したものじゃないと受け取ってもらえなくなっていました。	
2. 具体的な申し込み手順を教えてください。	
まず、2月頃に学内選考を終え明治大学によって留学が認められると、3月頃から Etudes en France のアカウント作成をします。オンラインフォームが認証された後、オンラインシステムの手続き料金（約15600円）を支払います。その後、在日フランス大使館のビザセクションでビザの申請をするための予約をして、完了です。	
3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか？	
面接はありませんでした。	
4. ビザ取得に関して困った点・注意点	
在日フランス大使館のサイト上に具体的な必要書類の説明がなく、申請する直前まで不安でしたが、留学報告書を参考に手続きを進めるとうまくいったので、留学報告書を参考にするといいと思います。また、長期学生ビザ申請に必要な書類に住居証明書や貯金残高証明書等の作成に時間がかかるものがあり、予約をしようとしたときには既に枠は埋まっていました。しかし、7月以降、毎週水曜日の午前中限定で、交換留学生用の予約なしで申請できる枠があるので、予約が取れなくても心配ないと思います。	

II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

携帯電話に関しては、元々SIMフリーのスマートフォンを使用していましたが、現地でSIMカードを購入して1年間はフランスのキャリアに契約するため、渡航直前に日本で契約していたキャリアに行き、一時停止の手続きをしました。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	JAL				
航空券手配方法	JAL 公式サイト 記入		※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば		
大学最寄空港名	シャルルドゴール空港	現地到着時刻	10:00		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
移動の所要時間	空港からリールの駅まで1h30、駅から大学まで10分				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

シャルルドゴール空港からTGVに乗ってリールヨーロッパ駅に向かいました。到着ターミナルからTGVの駅までの道のりは、Youtubeを見て予習していたのでスムーズに移動できました。しかし空港での待機時間が長かったので、空港到着時刻とTGV出発時刻に2時間程余裕があると丁度いいと思います。リールの駅から大学まではタクシー、大学から寮までは徒歩で向かいました。私は全て1人で移動しましたが、家族と一緒に来ている方もいて、観光ついでに荷物運ぶのを手伝ってもらうのはいい考えだなと思いました。

大学到着日 8月17日15時頃

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の申込み手順	リールカトリック大学から3月頃に送られてくる留学生向けの資料に、住居のサイト一覧が掲載されており、そこから大学寮に申込をしました。All logement という名前で、第五希望まで選べて、抽選で寮が決まります。サイト上にすべての寮の写真や動画などの紹介があり、大学からの距離をよく吟味して決めるとよいと思います。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

寮の希望を出して、約一か月後の5月末頃に決まりました。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	ISTC:8/25、FLSH:9/6
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料（金額： ）
内容の様子は？	学内 Wi-Fi の接続、オンラインプラットフォームの使い方など学生生活に必要なことの説明を受けた後に、レクリエーションやお昼ご飯を他の留学生と一緒に食べる会があり、新しい友達を作る良い機会だったので参加することをおすすめします。
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	8月28日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

渡航後に必要な手続きは、在留届の提出、ビザの有効化、フランスでの銀行口座開設、セキュリティ・ソーシャルへの登録、CAFの申請があります。銀行口座以外は全てオンライン上で完結する手続きです。銀行口座の開設に関しては、オンラインバンクの開設ならオンライン上での申請ができるかもしれませんが。私は、BNP Paribasの支店に直接行き、予約を取って、銀行口座を開設しました。予約は必須なので、渡航後すぐに銀行に行った方が手続きがスムーズにいくと思うのでおすすめします。

2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

健康診断書の提出が必須でしたが、メールで送るだけだったので、現地での手続きは特にありませんでした。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

日本にも支店のあるような大手銀行が安全かなと思ったので、BNP Paribasを選びました。必要書類は、パスポート、住居証明書、学校の登録書等で、約1時間程度で登録できました。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

購入していません。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（6月 日頃）

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他（ ）

到着後に（9月5日頃）

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他（ ）

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

ISTCではマスターコースの授業を取ることができました。またFLSHでも、マスターコースについては分かりませんが、留学生はBachelorの全ての授業から選択することができました。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

担当者に授業の変更メールを送り、現地で変更できました。明治大学のように、授業開始後に1週間程度の猶予期間があるため、1回目の授業を受けた後でも削除/追加できました。



リール・カトリック大学
メインキャンパス

Ⅵ. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床	起床	起床		起床		
8:00	朝食	朝食	朝食	起床	朝食	起床	起床
9:00	授業	授業	授業		予習		
10:00				自由時間	授業	旅行	旅行や課題
11:00							
12:00	大学の食堂 で昼食	自由時間	大学にて昼 食		大学にて 昼食		
13:00							
14:00	大学にて 課題	友達と料理 する等			友達と勉強		
15:00			授業				
16:00	授業			授業			
17:00							
18:00	帰宅			イベントに 参加			
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							



大学のカフェテリアでのランチ

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

リールカトリック大学は色々な学生が集まる大きい大学です。私が所属する ISTC もその一つで、他にも FGES や ESPOL などいろいろな大学が集結した一つの組織なのだそうで、色々な人と関わることができます。ISTC と FLSH ではキャンパスも異なり、違う雰囲気が楽しめます。FLSH では英語の授業にフランス人学生もいるので、フランス人の友達を作りフランス語の上達を目指すには良い機会だと思います。実際、私もフランス人の友達を作り、より実用的なフランス語を学んでいます。授業の形式は、グループプレゼンテーションを行う授業が多く、授業外でメンバー同士時間を合わせて話し合いをするので、少し大変です。私が大学で一番好きなのは、le green というカフェテリアです。朝ごはん、昼食、夕食を学生にやさしい低価格で提供していたり、ソファやコンセントも充実しているので、1人で課題をする時はもちろん、友達とちょっとしたおしゃべりするときにも使えて、とても心地の良い場所です。他にも、週に1度の無料野菜受け取りや、低価格スーパーなど、学生にやさしい取り組みが豊富で、リールはとても住みやすい町でとても気に入っています。宿舎について、私は all logement という組織が運営する学生寮に住んでいますが、今のところ特に大きな問題はありません。大学に近い立地の寮が多いので、留学生と交流したい学生や授業を一人暮らしは不安の学生には強くおすすめします。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

リールは建物や街並みが美しく、小さな都市なのでとても住みやすいです。そしてリールカトリック大学は、リールの中心街にもほど良い距離、近くにバーやカフェなども豊富で、大きな公園もあったり、充実した学生生活を送りたい人にはとてもおススメです。また、私が一番おすすめする理由は、リールの立地です。フランスの北部に位置し、パリまで TGV で1時間弱で行けます。また、ベルギーやオランダ等にも近いので、飛行機を使わずに海外旅行を楽しめます。実際に、私は TGVmax というサブスクリプションを利用して、日帰りでパリ滞在を楽しんでいます。まとめると、ゆったりとした雰囲気の町と都市の両方を楽しみたい学生にとって、リールカトリック大学は適していると思います。皆さんの留學生活が楽しくなることを願っています。

リール中心部 8月の景色

